

社会福祉法人 平成会

平

# 不老乃郷

広報誌

Vol.109

社会福祉法人 平成会

自分らしく生きることを支えます

発行 令和4年2月15日



3月下旬～  
お花見

不老の郷近くの公園の桜は、  
毎年見事な花を咲かせます。

4月  
ふれあい食事会

無事開催される事を願って  
います。

5.5(木)  
端午の節句

菖蒲の節句とも言われます。  
柏餅を皆さんいただきます。

# 遊 悠 く ら し

お気軽にご相談・お問い合わせください。

TEL.042-557-3030

〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町二本木1319番地 FAX.042-557-3210  
ホームページ <http://www.furounosato.org> E-メール [kaigo@furounosato.org](mailto:kaigo@furounosato.org)

Feature

# 特集

## 不老の郷の年末年始



年末から年始に向け、感染症対策を行いながらクリスマス忘年会とお正月行事を行いました。

クリスマス忘年会では、職員が余興を披露し入居者様に見ていただき、熱の入った演技に皆さん大いに盛り上がりいただきました。

一つ目の余興は、職員二名でサックス演奏を行い、入居者様の馴染みのある「ふるさと」や「きよしこの夜」等を演奏しました。演奏途中で、感極まって涙を流される入居者様もいらっしゃいました。他にも盛り上がる楽曲を演奏した際には、リズムに乗って手を叩かれ、積極的に掛け声を出されていたりと、ライブ会場のような盛り上がりが見られました。

二つ目の余興は、職員によるソーラン節！こちらも職員が入居者様に伝わり、大変盛り上がる事が出来ました。ソーラン節

を一度踊り終わった後、入居者様より「アンコール！アンコール！」との声上がり、職員は入居者様の声に応え、ソーラン節を二度踊る事になりました。どちらの余興も大変大盛況のまま幕を閉じました。

お正月行事ではお正月にふさわしい食事がおもてなしとして提供されました。おせち料理やお赤飯、お刺身お餅等が振舞われ、お正月を堪能されたようでした。お正月遊びにてかるたや羽子板を職員と共にを行い、初笑いにて福を招く事が出来ました。



サックス演奏

本年も健康第一で笑顔溢れる日々を過ごして頂ける様に職員一同、精進していきたく思っております。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



かるた



ソーラン節



羽子板

# 第1デイサービスセンター 不老の郷

## 干支作り

毎年、十月頃から翌年の干支作りが始まります。すでに十二支揃った方もいらっしゃいます。

カラー軍手片方で一個作れます。目や鼻しっぽなどのパーツなど細かい作業もありますが、難しい所は職員も一緒に作業しています。



ご利用者様同士、教え教わりながら楽しく作業に取り組みたい方もおり、交流をもちながら作業に取り組みごことができています。



## 楽しみは食べること

中々外出ができないご時世ですので、出前やテイクアウトで外食気分を楽しんだりしています。

手づくりのおやつも人気です。月に一回、デザートバイキングを楽しんでいます。

厨房スタッフは、美味しく喜んでいただける食事の提供を心がけています。



## hot time

入居者様との楽しい話、心温まるエピソード。

選挙の際、不老の郷では不在者投票が行われます。どの候補者に投票するか、前もって決めている方もいれば、その場で決める方もいらっしゃいます。

Nさんはどの候補者に投票するか決めかねていたようでしたので、職員は候補者ひとりひとりを説明しました。そして、どの人がいいですか？とお聞きしたところ、

「あんたがいいわ」

とても心が和んだ出来事でした(笑)



### 家族会 秋の大掃除



昨年10月24日、毎年恒例のご家族様による施設の大掃除を行っていただきました。

コロナ禍の中ではありますが、密を避け感染対策を万全に行い、施設内には一切立ち入らない形で実施させていただきました。

今回もご家族様には外階段からベランダの手すりや壁、外側の窓ふきを実施していただきました。お掃除をしていただいた後の窓越し面会では、ご利用者様達は大変喜んでおられました。ご参加いただきました、ご家族の皆様大変ありがとうございました。

この度の秋の大掃除にご参加いただいたご家族様を紹介させていただきます。

(順不同)

- 金子 幸子様
- 内田 久男様
- 榎本 和夫様 (2名)
- 石田 厚子様 (2名)
- 小平 千鶴子様 (2名)
- 雨宮 フサ子様
- 中垣 美千子様 (2名)
- 古川 健司様 (2名)

### 指定居宅介護支援事業所 不老の郷

主任ケアマネジャー

## 田中 みゆき

介護サービスを適切にかつ円滑に選択・利用されるようお手伝いいたします。少しでも皆様のお力になれるよう笑顔をもって頑張ります。もちろん秘密厳守いたします。

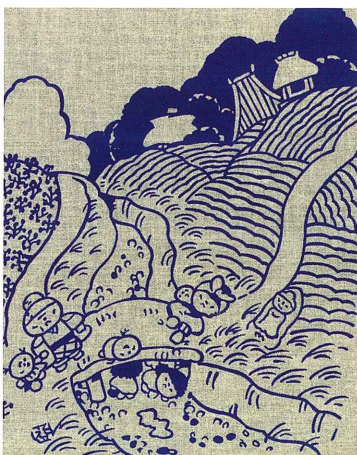
携帯:090-5089-8005

- 吉田 等様
  - 宮坂 美知子様 (2名)
  - 見山 邦夫様
  - 眞知田 由美子様 (3名)
  - 白井 良明様
  - 小原 益実様
  - 重野 幸子様
  - 小倉 啓子様 (3名)
  - 鈴木 忠夫様
  - 市川 千世様
  - 片倉 節子様
  - 西岡 浩様
  - 英 久子様
  - 櫻井 樹海子様
  - 志村 良三様
  - 田辺 新平様
- 【24家族、34名のご参加】

### 「不老の郷」の 名前の由来

不老の郷の北西には不老川が流れています。不老の郷という名前は、この不老川から取ったものですが、この不老川には別名「としとらず川」の伝説があります。

むかしむかしのお話です。不老川は当時大変なあばれ川で雨が降るとたちまち氾濫するような川でありました。しかし不思議と2月3日の節分の頃になると水が涸れてしまいました。旧暦の節分は「年越し」にあたりますので、人々は川が歳をとりたくないからだというようになり、豆まきの晩に「不老川の土橋の下で一晩過ごす」と年をとらないという噂が広まり伝説にあやかろうという人まで現れたそうです。これによって「としとらず川」から「不老川」と呼ばれるようになったのです。



不老の郷では、開設当初より、「自分らしく生きることを支えます」を理念に自立支援に取り組んでおります。

入居者様に出来るだけ「年を取らせない介護」を心掛け、職員も明るく元気をモットーに「自分も年を取らない」という気持ちで働いております。これからも「不老の郷」をどうぞよろしく願います。

### 編集後記

昨年も新型コロナウイルスに悩まされた一年でした。

今年こそは感染症が落ち着き、制限のない生活を送る事が出来ますようにと願っております。

